

令和3年6月1日



村雨こども園
村雨こども園愛分園
村雨こども園なぎさ分園

例年より早く、梅雨の季節を迎えました。

新型コロナウイルス感染拡大による「非常事態宣言」発令に伴い、保護者の皆様には、家庭保育等にご理解ご協力を頂きありがとうございます。

テレワーク等の働き方の定着、一方で医療従事者の方など現場での勤務等、コロナ禍で、私達のあらゆる生活様式が変化する中で、子育てとお仕事の両立に、奔走されていることと思います。

職員もより一層、ご家庭との連携に努め、子育ての支援をさせて頂きながら、子ども達と毎日を充実して過ごしていく事ができればと思います。

5月は、「変異ウイルス」が猛威をふるい、感染者を爆発的に増やしました。先月は特に、新型コロナウイルス感染防止対策を強化し教育・保育を行いました。

また、お天気の良い日は、近隣の公園に出かけ、広いスペースで思いっきり走って遊び、園庭では、鬼ごっこやドッチボール、フラフープなどルールのある遊びを幼児クラスは楽しみました。乳児クラスは、バギーでお散歩し、園庭では、たくさん歩いて散策し、お砂遊びなども楽しみました。

新型コロナウイルス禍で、感じにくくなった開放感が満喫できるように、身体をしっかり動かし、戸外遊びに、十分にに取り組めるように努めました。

また、お子さんの園での生活や遊びの様子を見て頂く予定でした「保育参加」は、新型コロナウイルス感染の現状を踏まえ中止とさせて頂きました。

6月は、「個別懇談」を実施します。ゆっくりとお聞きになりたい事などがありましたら懇談をご希望下さい。お子さんの様子を少しでもお伝えできればと思っています。

この時期は、気温の変化も大きく、体調をくずしやすい時期です。特に、衛生面や生活リズムなどを見直しながら、健康に過ごせるように気をつけていきたいと思っています。





8日(火)	歯科健康教室(4, 5歳児) 10:00~
14日(月)	英語であそぼう
14日(月)~18日(金)	発育測定
15日(火)	内科検診(乳児) 10:30~
16日(水)・17日(木)	尿検査(一次) 9:30までに持ってきて下さい。 ※14日(月)に尿検査キットを配布します。
17日(木)	内科検診(幼児) 13:30~
19日(土)~30日(水)	個別懇談
22日(火)	誕生日会
24日(木)	歯科検診 13:15~
28日(月)	英語であそぼう
29日(火)	避難訓練

* クリス先生と遊ぶ英語で遊ぼうは、「緊急事態宣言」解除後に再開予定となります。

* 内科検診・歯科検診の結果は、書面にてお知らせします。



保健だより



6月4日から6月10日は「歯と口の健康週間」です。
 歯磨きの習慣をつけたり、磨き方を見直したりして、虫歯予防を心がけましょう。
 歯には物を噛んだり、発音を助けたりする役割があります。
 歯が悪いと、頭痛がしたり、姿勢が悪くなったりするなど体にも影響が出てきます。
 一生、自分の歯で過ごせるよう、乳幼児期に親子で頑張りましょう。



これからの季節、急に暑くなると、体温調節がうまくできずに発症する傾向があります。
 こまめに水分補給をし、薄着を心がけ出かけるときは、帽子をかぶりましょう。
 熱中症の症状が見られたらすぐに適切な手当てをしましょう。

「熱中症？」そのときに

子どもたちが大好きな夏ですが、熱中症には注意を。子どもに異変があったら、すぐに手当てをして重症化を防ぎましょう。



① 涼しい場所に移動する

風通しのよい日陰や涼しい室内に運んで寝かせ、服のボタンやベルトを外す。



② 体を冷やす

ぬらしたタオルで体をふき、うちわや扇風機の風を当てて体にこもった熱を逃がす。



③ 水分を少しずつ与える

麦茶や子ども用のイオン飲料などをひと口ずつ与える。一度に飲ませず、様子を見ながら。

- 冷やしたタオル
 - タオルに包んだ保冷剤
 - 冷えた缶ジュース
- などを挟んで冷やすと効果的



注意！！

39℃以上の発熱があり、ぐったりして意識がないときは救急車を呼びます



夏に気をつけたい病気

高熱に注意!

夏かぜ

夏かぜを起こすウイルスは、冬のものとは異なり、高温多湿を好むタイプです。せきや鼻水は少なく、肺炎などに進行することはまれです。夏に流行する主な病気に、プール熱、ヘルパンギーナ、手足口病などがあります。

- 高熱が出る
- 目の充血、痛みがある
- のどが赤くはれ、痛みがある
- 体に発しんが出る

これらの特徴があったり、いつもと様子が違うときは、必ず受診し、医師の診断を仰ぎましょう。

目の病気がはやっていきます

目の症状が気になったら、こんな病気かも!?
どちらもアデノウイルスによる感染症です。感染力が強いため注意が必要。早めに受診しましょう。

プール熱

- 症状**
- 発熱 (38℃以上)
 - のどの痛み
 - 目の充血
 - 目やに、涙
 - ※熱は3~5日続く

流行性角結膜炎

- 症状**
- 目の充血
 - 目やに
 - まぶたのはれ
 - ※ひどくなると発熱や下痢を伴うことも

対策

- 対処療法が中心。のどごしがよい食事にする
- 水分補給をして脱水予防を

対策

- 処方された目薬などを使う
- タオルなどの共有をしない
- 汚れた手で目をこすらない。よく手を洗う

眼科

※どちらも、登園には医師が記入した意見書が必要になります。

「ヘルパンギーナ」に注意

のどの奥に水ぼうがができる「ヘルパンギーナ」がはやっていきます。夏かぜの一種でそれほど心配はありませんが、のどの痛みが強く、食事や水分がとりにくくなるのが特徴。高熱が3日以上続いたり、水分をとれないようなときは急ぎ病院へ。

症状

- 38~40℃の高熱が2~3日続く
- のどの奥に白いぶつぶつができる
- のどの痛み
- 食欲不振など

対策

- かぜと同じケア
- こまめな水分補給
- 薄味のスープや豆腐、プリンなど、のどごしと消化のよい食事



熱が下がって1日以上たち、いつもどおり食事ができるまでは、園をお休みしましょう。

手足口病に注意しましょう

症状

発熱することもある

てのひら、足の裏、口の中、おしりに、赤い発しんがある



下痢をすることもある

夏に流行することが多い病気。感染力が強いため何度もかかる可能性があります。

口の中の水ぼうが痛むときは、プリンや野菜スープなどのどごしのよいものを。



治った後も、2~4週間くらいは便にウイルスがいます。おむつ替えの後は、しっかり手を洗ってください。

かかってしまったら園をお休みしましょう。熱が下がって1日以上経過し、いつもどおり食事できれば登園可能です。